

大阪府 SDGs 推進本部（第 1 回）議事概要

日時：平成 30 年 4 月 2 日（月）11：20～11：35

ところ：大阪府庁本館 特別会議室（大）

【議事概要】

（山口政策企画部長）

- ・SDGs は、国連総会で決定された持続可能な社会をめざす 17 の分野の国際的な目標。非常に多様で幅広い目標で、これを達成するには、各地域において広範なステークホルダーが連携しながら取り組みを進めることが重要。
- ・とりわけ、SDGs の理念は 2025 万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」とも共通する部分が多い。
- ・2025 年万博の誘致をめざす大阪府として、SDGs 達成に向けた取り組みをしっかりと先導するため、今回推進本部を立ち上げたところ。知事を本部長とする本部の下、全庁上げた取り組みを推進するため、お願いしたい。
- ・具体的な内容については、企画室から説明。

（本屋企画室長）

- ・全庁一丸となって SDGs の推進を図り SDGs 先進都市をめざしていく。
- ・その背景として、①SDGs と誘致をめざす 2025 万博のテーマ「いのち輝く未来社会」の理念が合致していること、②国においても実施指針の策定など一定の方向性を取りまとめていること、③民間企業等においても SDGs と関連付けた取り組みが広がってきていること、の 3 点。
- ・目的意義として、府が SDGs 達成に向けた取り組みを全庁一丸で取り組むことで、府民・市町村・民間企業など様々なステークホルダーの取り組みを促すことに繋げる。取り組みを促進することで、SDGs 先進都市としての大阪の都市格を向上すること。万博と連動して、経済・社会・環境面での幅広い取り組みを発信し、世界の課題解決への貢献をめざすといった意義が考えられる。
- ・今後の取り組み方向として、三段階の取り組みがあると考え。まずは、SDGs の理念の理解促進。2 つ目として、SDGs 推進に向けた具体的取り組み・方向性の検討。先進事例の収集・ステークホルダーとの連携を模索するなどして、各部局関連の個別分野について、主体的に何が出来るかを検討していただきたい。そして、3 つ目として各部局の取り組みを通じた SDGs の推進。出来ることから既存事業や各種行政計画などに SDGs の観点を反映。更に、新たな取り組みの実施や、民間企業とのタイアップ等、各部局の取り組みを通じた SDGs の推進に繋げていきたい。
- ・今後、企画室としても府民向けの SDGs 展示会の開催や、庁内勉強会の実施などに尽力。SDGs の取り組みが進むように各部局の協力をお願いしたい。

(中野総務部長)

- ・SDGsについての情報共有・理念の普及に関し、市町村向けの勉強会の開催等があるが、市町村課で(市町村の)ブロック会議などを行っているので、企画室と調整しながら、適切な時期に開催できればと思います。

(新井副知事)

- ・各部がどう関わって、何をするのか。SDGsの理念・課題等は、おおまかに受け止めているだろう。
- ・「いのち輝く未来社会」をめざすビジョンの策定時も、各部が主体的にどのように取り組むかについて色々議論があった。ビジョンの中でも、SDGsにどう貢献するか整理している。
- ・「いのち輝く未来社会」をめざすビジョンとの関係の整理も含めて、政策企画部の方から提示するのか、各部が主体的にこの理念の実現をめざすのか。

(山口政策企画部長)

- ・SDGsは本当に広範な分野に渡っており、どうかたちで進めるかというのは、今後各部局と相談しながら進めたい。
- ・大阪府として、計画をまとめて実施するというよりは、基本的には、各部局の既存の施策であるとか、これから行う施策等を進める中で、大阪がSDGsの先進都市を目指していきたいということ。
- ・基本は各部局でいろんな取組を進めていただき、政策企画部としては、お手伝いをしたいとそういうスタンスで進めていきたい。
- ・そうは言っても、いきなりやれと言われてもなかなか難しいかと思うので、当面、夏ぐらいまでは、SDGsの内容や、他都市の色々な取組みを、情報収集したうえで、各部局と勉強会等を通じて一緒に考えるといった機会を設けていきたい。
- ・そうした中で、各部局で、どういう分野で取組みをすれば効果が上がるのか、良いものが出来るのかということを中心に考えていただく。このような手順で進めていきたいと考えているので協力をお願いしたい。

(新井副知事)

- ・SDGs達成のための共通の目標を定めるのではなく、各部局がSDGsを意識して施策を推進する中で、どのようにアウトプットを設定するか検討していくということか。

(山口政策企画部長)

- ・我々が計画を作るというのではなくて、各部局の、例えば、環境、福祉の分野等、S

SDGsと共通する部分については、SDGsの視点をしっかり入れ込んだうえで、事業を進めていただくということを目指していきたい。

(藤井健康医療部長)

- ・SDGsには、国連が17の目標について、169のターゲットを設定していて、健康医療の分野では、例えば、医療にアクセスできる人を100%にしようとか、そういうターゲットが非常に分かりやすいが、そういうものを何か大阪府で作るといふことなのか。

(山口政策企画部長)

- ・基本的には、何か独自の目標を作るといふことではない。国連や、国が示しているターゲットが、かなり詳細にわたっているので、まずは各部局でやっている施策であるとか、事業の中に(SDGsの観点を)落とし込めるかどうか、それをしっかり考えてもらうということがスタート。

(西田商工労働部長)

- ・商工労働委員会でSDGsの17の項目に関連したものをしっかりビジネス化してほしいというご提案を受け、知事からもしっかり取り組んでいきますといふようなかたちで答弁いただいた。
- ・商工労働部としても、社会課題解決型のビジネス支援をやっていて、1から17の目標の項目に関係するものが多い。そういったものは、中小企業にとってもビジネスチャンスであるので、SDGsビジネスへの関心を高めるための機会を積極的に設けていこうと思っている。

(大阪府知事)

- ・SDGsって何なのというのが、府民の皆さんにもあまり理解されていないところがあると思う。先ほども話が出たが、我々が万博のテーマに掲げている「いのち輝く未来社会のデザイン」といふのと、理念が被っていると。府庁の政策としては「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けた取り組みはやっている。その取り組みの中で、これはSDGsですよ、といふかたちで、まとめていけばと思っている。
- ・例えば、健康医療部が取り組んでいる、超高齢化社会に健康寿命を延ばすといふのは、まさにSDGs。国際医療貢献も。環境に対しての、日本の技術力。環境を守るための様々な技術力を作っている中小企業もSDGsの商品を開発している。
- ・そういう捉え方をすると、今既にやっていることを、「これSDGsですよ。」という風にきちんと説明していく。それを府民のみなさんに理解して、自分たちも参加してもらう。これが、推進本部の役割だと思っている。SDGsをあまり難しく考え過ぎ

るとこんがらがってくると思う。

- ・各部局で今やっていることが、「いのち輝く未来社会」のデザインに繋がれば、それはSDGs。世の中の人、府民のみなさんもそういう感覚で説明したほうが分かりやすいと思うので、ぜひ、各部局、色々工夫しながら、SDGsは、「こういうもの」というものを分かりやすく、府民のみなさんに伝える、理解されるように推進本部で色々作り上げてもらいたいと思う。よろしく願いしたい。

【以上】